

しずここ ニュース レター

静岡市
自殺対策推進センター
〒420-0846
静岡市葵区城東町 24-1
静岡市保健所 精神保健福祉課内
TEL&FAX:054-209-7260
No.18 H30.3 配信

▽「しずここニュースレター」では、自殺対策や心の健康に関する事業に携わる方及び関係者の方々に対し、静岡市における自殺対策に関する情報を提供しています。ニュースレターに対する御意見・御要望等ありましたら、お気軽にお寄せください。

いきるんのマンガ作品 最優秀賞が決定！

身近な人との支え合いやいのちの大切さを考える機会をつくり、作品に込められたテーマを広く市民に発信することを目的として「生きる！を支える」みんなの隊長いきるんを主役にしたマンガ作品を募集しました。その結果、【小・中学生の部】【一般（高校生以上）の部】合わせて137作品もの応募がありました。市職員による一次選考、市民投票による二次選考を経て、【小・中学生の部】【一般（高校生以上）の部】の両部門において、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞5名が決定しました！入賞作品は電子ブックとして、静岡市自殺対策ホームページ「しずここネット」にも掲載されますので、ぜひご覧ください！



【小・中学生の部】 高野珠愛さん



【一般（高校生以上）の部】 鳥居勇さん

自殺対策に関する市民意識調査結果

この調査は、静岡市における自殺対策を効果的に実施するため、また「静岡市自殺対策行動計画」推進の基礎資料として活用することを目的として実施しました。以下、調査結果の一部をご報告します。調査にご協力下さった市民の皆様ありがとうございました。

調査対象：静岡市在住の20歳以上の5,000人を無作為抽出
調査期間：平成29年9月1日～9月18日
調査方法：往復郵送調査法（郵送による配付・回収）
回収状況：有効回答数 2,043通、有効回答率 40.9%

※すべての結果をご覧になりたい方はこちら

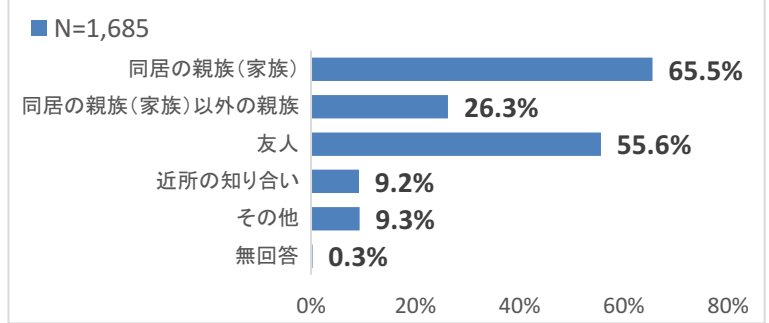
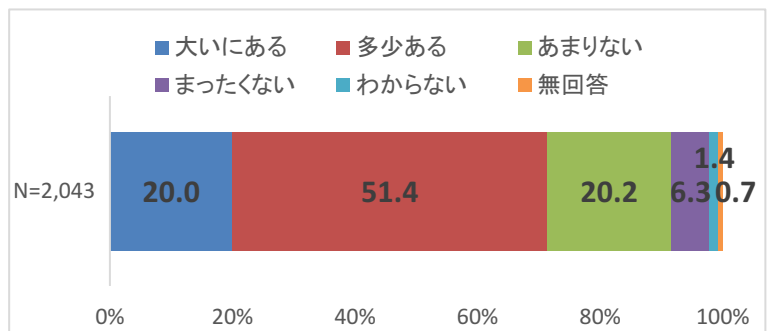
http://www.city.shizuoka.jp/861_000010.html

■この1カ月間での悩み、ストレス等の有無

有効回答数 2,043人のうち、「大いにある」と「多少ある」をあわせた「ストレスがある」の割合が71.4%、「あまりない」と「まったくない」をあわせた「ストレスがない」の割合が26.5%となっており、多くの市民がストレスを感じていることが分かりました。

■普段から悩みなどを相談できる相手（複数回答）

「普段から何気ない日常会話や悩みを相談できる相手がいる」と答えた方のうち、「同居の親族(家族)」の割合が65.5%と最も高くなっており、次いで「友人」の割合が55.6%、「同居の親族(家族)以外の親族」の割合が26.3%となりました。悩んでいる人にとって身近な人の存在が大切であることが伺えます。



3月「自殺対策強化月間」の取組み紹介

わが国では、自殺対策基本法により毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めています。これに合わせて、静岡市では「生きる！を支える」をスローガンに、様々な自殺対策関連事業を実施しています。

市民一人一人が自身の心の健康を維持することの大切さや、身近な人とのつながり、支え合いに改めて関心を寄せていただけるよう、静岡市役所1階フロアにて「生きる！を支える」取組の展示を行っています。自殺対策に関する意識調査結果や「生きる！を支える」みんなの隊長いきるんのマンガ入賞作品の紹介、関係各課・団体からのメッセージを紹介しています。

- ◆展示場所：静岡市役所静岡庁舎1階フロア
- ◆展示期間：平成30年3月23日（金）まで



関係課・関係団体からのメッセージ(抜粋)

制度の枠の中では対応しきれない複雑な相談を関係機関や団体などと連携し、必要なサービスを紹介しながら、ご相談者に寄り添う「伴走型」の支援で、問題解決の糸口を一緒に探していきます。
(静岡市社会福祉協議会)

臨床心理士による「メンタルヘルス相談」、社会保険労務士による「労働相談」を実施しています。働いている方が参加しやすい夜間の時間帯に設定し、相談は無料です。
(商業労政課)

- 皆さんの様々な悩みの解決や、「こころの健康」の保持・増進等のために、各種相談窓口を開設しています。
- ☆うつ病専門電話相談「てるてる・ハート」(こころの健康センター)
- ☆精神保健福祉相談(こころの健康センター)
- ☆メンズほっとライン静岡【男性電話相談】(男女参画・多文化共生課)
- ☆女性のための相談(男女参画・多文化共生課)

詳しくは静岡市自殺対策ホームページ「しずこネット」をご覧ください！ <http://www.shizu-coco.net/>

「静岡いのちの電話」の活動紹介

私たちの活動は、死にたいと思うほどの苦しみや悩みを抱えながら、身近に相談できる人もなく、孤独と不安に苦しむ人たち一人ひとりと、電話を通じて心に寄り添いながら、自ら生きる勇気を持って頂けるように、支援するボランティア組織です。

「ボランティア電話相談員」は、現在約85名の人たちが、高い奉仕の精神と生きがいを持って相談支援活動をしています。

「ボランティア活動へのお手伝い」電話相談員以外で、私ども社会福祉法人静岡いのちの電話の維持会員になって頂き、ご支援・ご協力を頂くこともできます。詳しくは、下記事務局にお気軽にお電話ください。

静岡いのちの電話事務局(平日 12~18時)
TEL.054-272-4344

静岡市の自殺の現状 平成29年1月~12月(暫定値)

※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より

平成29年の静岡市の自殺者数(暫定値)は、平成28年の147人(確定値)より39人少ない108人、自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)は15.2(暫定値)でした。自殺者数の男女別内訳は男性が83人(自殺死亡率24.0)、女性が25人(自殺死亡率6.9)となっており、男性が全体の7割以上を占めていました。

月別にみると、自殺者数は9月が最も多く17人、12月が最も少なく4人となっていました。

静岡市の自殺者数は、平成21年以降、平成23年まで増加していましたが、その後減少し、平成29年は過去9年間で最も少なくなっています。しかしながら、大切な命が数多く失われていることに変わりはなく、引き続き自殺対策の各種取組を推進していく必要があります。

